

令和4年

第12回12月定例教育委員会議事録

令和4年12月22日

大野城市教育委員会

次 第

- 1 招集日時
○招集日 令和4年12月22日
○開会時間 午前10時00分
○閉会時間 午前10時45分

- 2 招集の場所 大野城市役所 本館4階 全員協議会室

- 3 会議次第
 - (1) 議事録署名委員
令和4年第11回議事録の署名委員 高野 英機 委員
12回議事録の署名委員 山口 典子 委員

 - (2) 議事 なし

 - (3) 教育長報告

 - (4) 報告
 - ①令和5年度大野城市奨学資金奨学生（文化・スポーツ奨学生枠）の選考結果について

 - (5) その他
 - ①12月定例議会一般質問の概要について
 - ②大野城市立小中学校令和4年度卒業証書授与式及び令和5年度入学式について
 - ③学校運営協議会推進大会について
 - ④教育長の業務報告（11月～12月分）
 - ⑤教育委員会の主な行事・業務の予定（1月分）

- 4 出席した委員等 伊藤 啓二（教育長） 梶原 千春 松本 民仁
高野 英機 山口 典子

- 5 欠席した委員 高木 和敏

- 6 出席した職員 教 育 部 長 日野 和弘
教育政策課長 橋元 啓樹
教育振興課長 中島 大輔
教育支援課長 山崎 栄子
スポーツ課長 中川 啓
教育政策課係長 川口 司寛
教育政策課担当 佐藤 恵士
尾ノ口 加代子

- 7 会議の書記 教育政策課担当 川口 司寛

午前10時00分 開会

○伊藤教育長

ただいまから、令和4年12月定例教育委員会を開会いたします。

〔会議録承認〕

○伊藤教育長

まずは、議事録の承認に入ります。

前回の11月定例会にて高野委員にお願いをしておりましたので、署名をお願いいたします。

○高野委員

はい。

○伊藤教育長

それでは、今回の議事録の署名については、山口委員にお願いいたします。

○山口委員

はい。

○伊藤教育長

次回の委員会において御署名をお願いいたします。

〔議 事〕

○伊藤教育長

それでは、次第に従って進めます。

3番、議事。今回、議事はございません。

〔教育長報告〕

○伊藤教育長

4番、教育長報告。

別紙資料を御覧いただければと思います。

資料は一つだけですが、「綱紀の厳正な保持について（通知）」ということで、これは県の教育委員会から通知されたもので、12月あたりに毎年通知されているものです。

2ページ目の冒頭のところに書いてありますように、県内では、今年度既に盗撮やわいせつ行為、公金の着服などにより9件の懲戒処分が行われておりますということで、去年に比べて少し多いというような状況です。

このことを踏まえまして、内容について、このような綱紀の厳正な保持についてという通達が出されております。先日、校長会がありましたので、校長先生方に、まずこの資料を基にきちんと全員に伝えていただくこと、それと特にこの時期、飲酒の機会も少し増えてまいります。飲酒運転で今回逮捕されて懲戒処分になっている方は、飲酒した翌日に逮捕された、というケースが多いようです。というのは、要するにお酒が残っている状態で運転をしているということで、校長会では、まずそのことを伝えていただくとともに、飲酒量がふだんから多い先生方には特に個別にきちんと、今こういう事案での飲酒運転が増えているということで、過信をしないで、アルコールの量に応じて、きちんと自分の運転ができる、できないは判断をしてもらう。それから、アルコールチェッカー等を使いながら、きちんと測定をしてもらうということで、リスクがありそうな人をちゃんと指導するようにということでお願いをしているところです。

そのほか、この資料には、9ページの「多重債務者にならないために」というのも特に今年は強調をされているところです。無計画なお金の利用、それから、いろいろ借りたりすることでお金の支払いができなくなる状況になるというものもあっているようです。こういうケースも大野城市内の職員にも全くないわけではありませぬので、こういうことも踏まえながら指導していただくようお願いをしているところです。

教育長報告について、今回はこの1件でございます。

それでは、今の報告について何か御質問ありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

〔報 告〕

○伊藤教育長

それでは、次第の5、報告に入ります。

(1) 令和5年度大野城市奨学資金奨学生（文化・スポーツ奨学生枠）の選考結果について、橋元教育政策課長、お願いいたします。

○橋元教育政策課長

それでは、私のほうから、大野城市奨学資金奨学生（文化・スポーツ奨学生枠）の選考結果につきまして、御説明をさせていただきます。

1 ページをお願いいたします。

1 の文化・スポーツ奨学生枠の選考試験の実施報告でございます。

実施日は、10月22日土曜日に行っております。

内容につきましては（3）に書いておりますとおり、論文試験と面接試験を行っております。

応募者につきましては、高校奨学生枠が応募者数2名で、受験者数も2名。大学奨学生枠は応募者数1名、受験者数1名となっております。

論文審査につきましては、選考委員3名をお願いをいたしまして採点いただきました。

面接試験につきましては、選考委員2名で、2名1組でそれぞれ1人ずつ面接をさせていただきます。

なお、最終的な募集人員、面接の合格者としては、（7）に書いておりますように、「募集人員」と書いておりますが、高校奨学生1名、大学奨学生1名となっております。

次に、選考結果でございます。

(1) の高校奨学生につきましては、面接及び論文試験の点数を平均し、小数点以下第二位まで求め、第1位を内定者、2位を補欠ということにしております。

大学奨学生枠につきましても、点数のやり方は一緒で行っております。

次に3の、選考委員会による文化・スポーツ奨学生枠の選考結果の審議でございます。

こちらについては、11月21日月曜日15時30分から行いまして、選考委員11名に出席していただき、1名は書面で意見を提出していただき、結果的には事務局提案どおり、高校奨学生は1位の方を内定者、2位の方を補欠、大学奨学生枠については1名、受験していただいた方をそのまま内定ということにさせていただきます。

なお、最後に少し所見のほうを申し上げさせていただきたいと思います。

今回、文化・スポーツ枠というのは初めての試みで実施いたしました。内容的に少し残念に思っているのが、応募者数が3名ということで、学力奨学生枠に比較して応募者数が少なかったことがございます。これについては周知の方法とか、もう少し工夫をすべきだったかなということで考えておりました、今回も周知はさせていただいたんですが、スポーツ協会や文化連盟だけではなくて、所属されてある競技スポーツや文化の種別ごとに、それぞれ積極的に周知を行うべきかなということで考えております。

なお、点数につきましては、点数化した数字を見て、一概には申し上げられないですが、面接結果の試験の点数は、学力奨学生と比較して文化・スポーツ奨学生枠の方のほうが高いような数値が出ておりました。終わった後、面接官の御意見を伺っていても、やはり何か明確な目標を持ってしっかり自分のことを話せる受験生が多かったんじゃないかなということで意見を伺っております。

今後も、学力奨学生枠と併せてそれぞれ工夫をしながら、たくさん受験していただけるように、応募していただけるように工夫をしてまいりたいと思います。

説明は以上です。

○伊藤教育長

ただいまの説明について、何か質問はございませんか。

どうぞ、梶原委員。

○梶原委員

今、聞いていて思うんですけど、少し内容を読んだときに分かりにくかったんじゃないかなと思います。新しいことでもあるし、基準が高校生だったり大学生になる子だったり、親御さんにとって分かりやすい判断ができるような書き方をさせていただいたほうがいいのかなんてちょっと思います。私も高校生の子がいるけど、ちょっと分かってなかったのかなという気がするので、もう一回よく見直して、素人目線というか、専門用語があまり入らないような、親御さんとか子どもさんが読んで分かりやすいような説明で募集をしたほうが良いような気がします。

○伊藤教育長

橋元教育政策課長。

○橋元教育政策課長

ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。

高校奨学生枠については、中学校のほうの進路相談の先生に基準を説明させていただいたんですが、その後スポーツクラブに別件でお邪魔する機会があって、「こういった奨学生枠やっているんですけど」とお話ししても御存じなかったりとか、そういったことがありましたので、学校の先生にだけ説明しても保護者の方までには伝わっていないなと感じました。高校はまたなおさらということで、それで応募者数が少ない格好になっていると思っておりますので、具体的には、分かりやすくやるのとともに、それぞれのクラブであるとか、そういったところに直接お話とか周知をさせていただけるほうが、また少し効果が出てくるのかなということで今のところは考えております。

ですから、最初に梶原委員がおっしゃったとおり、もう少し分かりやすく、しかも平等な形で応募がいただけるような格好にしていきたいと思います。ありがとうございます。

○伊藤教育長

よろしいでしょうか。梶原委員。

○梶原委員

広報が一番公平なのかなと思うんですけど、というのが、スポーツクラブとかは市内じゃないところに通っている子もたくさんいらっしゃるんで、その全部のスポーツチームとかに御案内するのが難しかったりするんで、文化のほうもそうだと思うんですけど、なので、広報とかを見たときに、自分が該当するかもって思えるような取っかかりがあるといいなと思います。よろしくお願いします。

○伊藤教育長

では、御意見も参考にしながら、今年度の分の検証はしっかりしていただいて、改善を図っていただければと思います。

そのほか、何かありますでしょうか。

高野委員。

○高野委員

これ、審査に当たっては、面接と論文がありますが、該当する人は、例えば何か賞を取られたとか、全国大会に出られているとか、そういったものも確か基準に入っていましたよね。

○橋元教育政策課長

はい。

○高野委員

そしたら、そういった方には優先的に「こういう奨学生、どう？ 募集がありますよ」というようなことを案内してもいいんじゃないかなと思います。

それと、この報告の中に「基準」ということは一言入れとったほうがいいんじゃないかなと思います。面接と論文だけで何か奨学生を決めてるような感じになってますので。よろしくお願いします。

○橋元教育政策課長

はい。次回の提案のときにはしっかり記入をさせていただきます。

○伊藤教育長

そのほか、何かありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

〔その他〕

(1) 12月定例議会 一般質問の概要について（教育部長）

(2) 大野城市立小中学校令和4年度卒業証書授与式及び令和5年度入学式について（教育政策課）

(3) 学校運営協議会推進大会について（教育支援課）

(4) 教育長の業務報告（11月～12月分）

(5) 教育委員会の主な行事・業務の予定（1月分）

○伊藤教育長

それではこれで12月の定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時45分 閉会